

防災

武豊町防災ボランティアの会
会長 鈴木 重久 さん(68才)



防災ボランティアの会には、5つの部会、121名の会員がいます。活動は、保育園や小中学校、自治区と連携して、防災訓練や防災学習のお手伝いなどを行っています。子どもたちには「地震が来たら机の下に潜る」ことだけではなく、「机の脚を持って、ひざをつく安全だよ」と、身を守ることの大切さをわかりやすく伝えるよう心がけています。自治区では、ご近所同士の防災訓練の大切さを伝えています。日ごろから地域のつながりを持つことも重要です。私たちはボランティアであり、サポート役です。みなさんの支援をすることで、少しでも地域貢献につながり、武豊町の防災力向上の一助となれば幸いです。



スポーツ

武豊町体育協会
会長 桑子 則夫 さん(73才)



昭和32年に武豊町南中根に空手道場(現:拳和館)を開設し、武豊町とともに歴史を重ねてきました。当時はすぐ東に長尾山(現在の町役場がある所)の松林、北に武豊中学校があるだけで電気も水道もなく、畑の中の一軒家が道場でした。私が空手を志したころは、まだ“古武道”といわれていましたが、今では日本体育協会にも加盟し、オリンピックの正式種目候補に挙げられるなど、認知度も上がりました。私の道場も孫弟子の時代となりましたが、子どもたちにはスポーツを通して“健全な身体を養い”“強い精神力を培い”“礼儀を学び”、これからの武豊町を背負って立つことを期待しています。



自慢の

観光

武豊町観光ガイドボランティア協会
会長 石黒 幸男 さん(70才)



平成22年に武豊町観光協会が設立され、翌年に行われた観光ガイドボランティア養成講座の修了生を中心に立ち上がったのが、当協会です。主な活動は、観光案内所の運営や、観光客のみなさんへのガイドなど。これまでに、学生、老人会など様々な方に観光案内を行いました。中には私たちよりも知識が豊富な方もおり、逆に教えていただくこともあります。観光ガイドは10年経って一人前!と言われます。会員一同、まだまだ未熟ではありますが、みなさんへガイドをしながら、ともに学び、“おもてなし”の心を持ちながら、精一杯たけとよの魅力伝えていきたいと思ひます。



武豊人列伝

文化

知多半島春の音楽祭運営委員会
運営委員長 犬塚 久夫 さん(67才)



みなさんは「知多半島春の音楽祭」をご存知でしょうか?知多半島5市5町を会場に、公共施設・飲食店・病院等、様々な場所で演奏会を行う、春の一大イベントです。2年ごとに開催されており、今回は85会場で291公演が実施され、来場者数は約32,000人。お子様向けの演奏会もあり、老若男女問わず、誰もが楽しめる音楽祭を目指しています。これらの活動が、ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)を拠点とする“文化を通じたまちづくり”の一助となれば幸いです。「知多半島春の音楽祭2015」は、平成27年(2015年)の1月31日(土)~3月15日(日)に知多半島全域各会場で行われます。



福祉

憩いのサロン中山会場
会長 小山 秀明 さん(67才)



「憩いのサロン」は武豊町内に11会場あり、おおむね65歳以上の方を対象に健康体操や季節の催し(夏祭りなど)を行っています。武豊町に住み続けて60余年。退職後に縁あって区長を務め、サロンの立ち上げから関わっていた中山会場の会長の職に就かせていただくこととなりました。中山会場にはアイデアマンが多く、奇想天外な素晴らしい企画のオンパレードです。金魚すくいに見立てた「プチトマトすくい」や、気候の良いときに外でお茶する「テラスでおしゃべり会」など。加えて、これらを運営するボランティアスタッフの役割も、受付や司会など毎回変えることでマンネリ化を防ぎ、やりがいを持っていただく工夫もしています。今後も高齢者の憩いの場として、みなさんに親しまれるサロンにしていきます。



教育

愛知県立武豊高等学校
校長 山内 正人 さん(60才)



私が新任教師として、武豊高校に赴任したのが昭和54年。当時は、生徒数が1,000人を超える大所帯で、ラグビー部が全国大会に出場するなど、活気にあふれていました。いくつかの学校を経験し、再び武豊高校に戻ることができたことに、強い縁を感じています。運動や文化を通じた学校づくりを目指し、現在は全国大会へ出場する生徒もおり、切磋琢磨する生徒たちの姿はとても頼もしいです。学校目標は「みんなの未来のために」。生徒たちには、自分のためだけでなく、周りの人・地域のために行動できる人間になってもらいたいです。町制100周年を迎えるときには私も100歳!お世話になった武豊町に恩返しをしながら、40年後には武豊町とともに喜びを分かち合いたいです。

